

(様式 3)

【日高町】
校務 DX 計画

1. 日高町の校務 DX 化の取組について

- ・校務支援システムの活用 (H30 年度～)
- ・デジタルドリルの導入
- ・保護者連絡ツールの導入による出席連絡等のデジタル化 (R5 年度～)
- ・教育情報セキュリティポリシーの策定
- ・教職員の ICT を効果的に活用した授業・会議の推進
- ・提出書類の原則押印廃止 (R6 年度～)

2. 「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト (令和 5 年度実施
令和 6 年 3 月 29 日確定値公表)」による自己点検結果から見えた課題

(1) GIGA 環境・汎用クラウドツールの活用

教職員・児童生徒には GIGA 端末での Microsoft, Google アカウントが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にある。本町では、「教職員が作成した教材や職員会議等の資料をクラウド上で共有」、「欠席連絡をクラウドサービスで受け付ける」などの活用は進んできているものの、「学校からのお知らせを保護者連絡ツールで配信」「保護者との日程調整におけるクラウド活用」、「宿題をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点」等依然として取り組めていないことも多い。教職員と保護者間、教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化をさらに進める必要がある。

(2) ネットワークシステムの構築

本町では、県内の企業が提供する校務支援システム (SaaS 型) の導入をし、校務の効率化を図っているが、校務系と学習系のネットワークが分離されているため、教職員が複数の端末を使って業務を行っている。また、「校務支援システムへの名簿情報の登録」についても、手入力で行っている学校もあり、教職員の負担となっている現状がある。今後は校務支援システムがクラウド化される予定となっており、ゼロトラスト環境を構築することにより、教職員が働きやす

い環境整備を行う。

クラウド環境での校務の効率化を図るためには、高速大容量の通信ネットワークシステムの構築も必要となるが、現状の通信環境では児童生徒の一人一台端末で一斉に通信を行うと、ネットワークにつながりにくくなる現状もある。通信環境についてはネットワーク整備計画でも示しているとおり、各校の状況を踏まえ、適切な整備を行う必要がある。

（３）校務の ICT 化の一層の推進

職員会議等の資料のペーパーレス化は進んでいるものの、「学校から職員に紙での提出を求めている書類はあるか」、「業務に FAX を利用しているか」、「押印が必要な書類はあるか」などの項目を見ると、紙面でのやりとりが残っている現状もある。FAX や紙面での書類の提出、押印の廃止については取組をすすめているところではあるが、関係機関とも協議しながら、慣行の見直しを行う必要がある。

3. 今後の校務 DX 計画

（１）GIGA 環境・汎用クラウドツールの活用

- ・教育委員会と学校におけるクラウドサービスを用いた日程調整や資料の共有
- ・保護者連絡ツールを活用した学校からのお知らせ・アンケート等の配信
- ・集金システムの導入による学校徴収金のキャッシュレス化に向けた検討（R6～）

（２）ネットワークシステムの構築

- ・校務支援システムのクラウド化
- ・ゼロトラスト環境の構築（R8～）

（３）校務の ICT 化の一層の推進

- ・FAX、押印に関する実態把握と見直し（R7～）
- ・FAX、押印について、関係団体への慣行への見直しを求める働きかけ（R8～）